

## b | 設計図の意味・何のために描くのか

### 図面で伝えたいこと

図面は誰のために描くのかと問われれば、真っ先に自分のためにと答えたい。もちろん、本来クライアントや造り手である施工者に伝えるための手段であることは間違いないのだが、まず設計者・デザイナー自身が納得いく図面にならなければ意味がない。図面は、自分の考えを実現できるかどうかの検討手段のひとつとして自分のためにある。スケッチやエスキースを重ね空間のイメージを膨らませても、実際はその具体性や実現性の根拠は未だ明快ではない。寸法という数値に置き換えてこそ成否が判断できるのである。

数値に置き換えるとは、各図面との寸法の整合性はもちろんのこと、高さなどのエレベーションや、人体とモノとの適合数値を求めたモジュール、同時に、納まりを求めるディテールの検討ができるてこの設計図であるし、それは設計者自身においても具体化するのに図面で可能性を確認することになるからである。そのアイデアが初めてのことであればあるほど断面図による推敲を重ね、詳細図による寸法精度を求めざるを得ない。その上で初めて設計者の考えに確信が持てるといえるし、第三者、すなわち施工者に正確に伝達される設計図として認知されなければ図面の意味がない。

ショッピングセンターでは、立地条件に設計上の条件を踏まえた上で、こうしたいというデザイナーのイメージからコトを起こす。陶芸家やクラフトデザイナーのように、デザインから制作まで一貫して自分自身で作品を造ることとは異なって、図面を

経由して施工の専門家、すなわちそれぞれの分野の専門の職方を通じてモノを造るのである。それだけ多種類の素材を駆使して計画的にひとつのものを組み立てていくには、スケジュールや段取りといわれる手配の専門家も必要となり、多くの人たちとのコラボレーションでの製作となる。その上、設計図に立地条件や現場の環境が反映されているわけで、複雑な内容を盛り込んだ密度の高い図面が求められるということは、即ち分かりやすい・見やすい・読み取りやすい表現、指示でなければならない。図面の基本であるが、いかに正確に描くかということは近年CADにより精度が飛躍的に向上しているから、むしろいかに具体的に表現するかを優先して考えるべきである。特にショッピングセンターではユニークなアイデアが多く、そのデザインの意図を的確に現すには独自の表現スタイルをとることが多いからなおさらである。

そうは言っても、施工者に伝達できなければ意味がないので、基本的には共通の約束事に則って製図されることには違いない。

それもCAD化により可能性が高くなったり、詳細図による寸法精度を求めるを得ない。その上で初めて設計者の考えに確信が持てるといえるし、第三者、すなわち施工者に正確に伝達される設計図として認

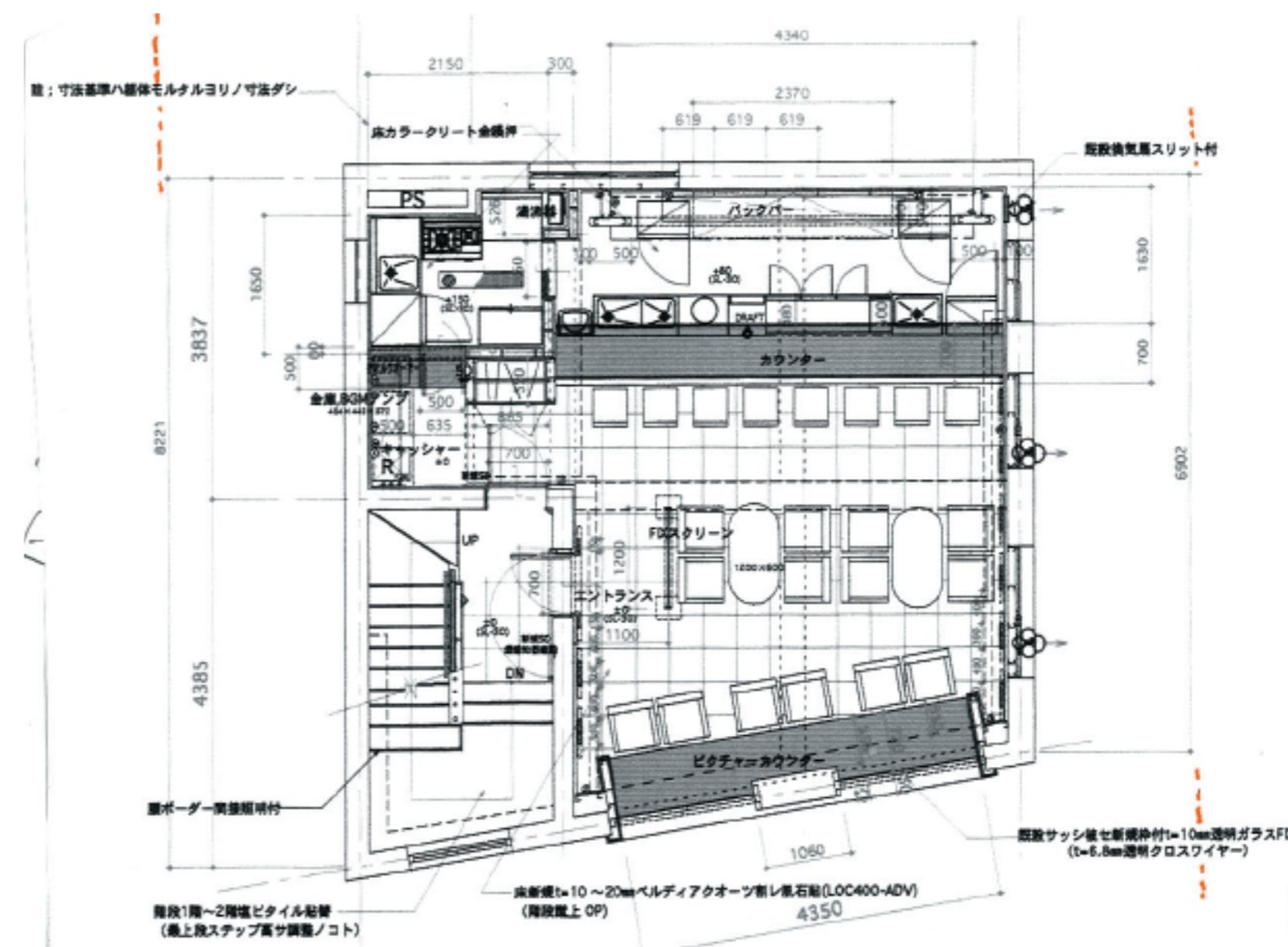
だ。しかし、1/1の原寸図だとしたら紙でも何枚かの厚みがあるし、髪の毛でも太さがある。すなわち1本の線とか、ひとつの点という点はモノを現しているとは言えないということである。

そうすると紙1枚でもその厚みを、髪の毛もその太さを現すのに2本の線で描かなければならぬ。髪の毛の断面図は点ではなく、その太さの丸でなければならないわけだ。要は、点や線でモノという面を現すのが図面である。1本の線で表現するモノはないと考えなければならない。例えば1/50の図面をCADで、厚み10mmのガラスを現すには太さ0.10mmの線でぎりぎりに二本の線を引くことになる。また閉閉する扉を平面図に描くにしても木製なら0.15~0.18mmの線で33mmの厚みで描く必要があるので、製図のJIS規格の表示符号では1本の線である。それは1/10で描く図面を対象にしているためであるが、ショッピングセンターの製図では1/50、1/30、1/20、1/10と大きく描き現すことが基本なので面を意識して図面を引くことが必要になってくる。

ただし、例外として図面の中にも1本の線としての役目のある柱や壁の中心線、通り芯線、また寸法線である。一点鎖線は寸法を明示するための基準線であり、点線は注意喚起の想像線である。これらの線は各図面に同位置の共有制を持たせるためのもので、モノを現すための線ではない。よって0.08~0.10mmくらいの太さが適している。同じように仕様を示すのに引き出し線を使うが、他の線と紛らわしくないように45度の角度をつけて引き出す。その角度は統一することは言うまでもない。

### 点と線で面を現す

正面図に1本の線を引いたとしたら、それは1枚の薄い紙を横から見たものと思うか、または平面図として見ても1本の線だとしたら、髪の毛(?)と思うだろう。そうすると断面図で見ると点にしかならないはず



オレンジ色の部分が1本の線としての役目るもので、中心線、通り芯線、引き出し線、また寸法線である。寸法線については、丸のマーカーを使用している。縮尺1/50の時で1.0~1.5mmの範囲の大きめにして見間違いを防ぐ配慮が欲しい